

各会派所属議員

(○印は代表者、括弧内の表記は略称)

鎌倉夢プロジェクトの会 (鎌夢会)

○高橋 浩司、日向 慎吾、永田 磨梨奈、小野田 康成  
みんなの鎌倉 (みんな)

○久坂くにえ、中村 聡一郎、河村 琢磨、渡辺 隆

公明党鎌倉市議会議員団 (公明党)

○納所 輝次、西岡 幸子、大石 和久

鎌倉みらい (鎌倉みらい)

○前川 綾子、池田 実、山田 直人

自由民主党鎌倉市議会議員団 (自民党)

○中澤 克之、上島 寛弘、渡邊 昌一郎

日本共産党鎌倉市議会議員団 (日本共産党)

○吉岡 和江、赤松 正博

公正、公平、透明な政治を実現する会 鎌倉 (実現する会 鎌倉)

○岡田 和則、長嶋 竜弘

神奈川ネットワーク運動・鎌倉 (神奈川ネット鎌倉)

○三宅 真里、坂本 令子

無所属

松中 健治、千 一、竹田 ゆかり

※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は、代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。

議決された主な議案

○賛成 ●反対 ※出席者あり

Table with columns: 議案 (Case No.), 議決結果 (Decision), 会派名 (Party Name), 無所属 (None). Rows include cases 6, 7, 8, 16, 17, 20, 18, 19, 1, 3.

議員個人の賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

5月臨時会  
5月21、22日に開催

議会新役員決定

任期満了に伴う市議会議員選挙が4月21日に行われ、26名の新しい議員が選出されました。

これに伴い、5月21、22日の両日にわたり、改選後初の議会となる臨時会が開催され、議長・副議長の選挙が行われました。

選挙の結果

【議長選挙】中村聡一郎議員 24票、無効票(白票) 2票、【副議長選挙】大石和久議員 26票

6月定例会

今定例会では、議員から3件の市長から17件の議案が提出されました。主な議案の内容及び議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

厳しい財政状況の中、着実な市政運営を支え、また行政とともに行政改革を進める

議会の立場から、前任期の意思を引き継ぎ今任期においても、平成26年7月末までの間、市議会議員の報酬月額等について5・6%の削減を行うものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。子宮頸がん予防ワクチン接種事業の検証と副反応被害者への救済を求める意見書の提出について

本年4月から定期接種化された子宮頸がん予防ワクチンについて、全国で接種後の副反応事例が多数報告されていることから、ワクチンの効果や危険性を精査し、検証するまで、接種の一時見合わせをすることなどについて国に意見書を提出しようとするものです。

議会では、少数の賛成により、原案を可決しました。《市長提出議案》

《条例関係議案》

《補正予算議案》

子ども・子育て支援施策の推進に係る必要な事項等の調査・審議を行うため、鎌倉市子ども・子育て会議を法の規定に基づき附属機関として設置し、必要な事項を定めようとするもので、本年7月1日から施行しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会条例の制定について

鎌倉市高齢者保健福祉計画の策定及び推進に関し、調査・審議を行うため、鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会を法の規定に基づき附属機関として設置し、必要な事項を定めようとするもので、本年7

月1日から施行しようとするものです。議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例の臨時特例に関する条例の制定について

小町通り電線共同溝工事等業務委託に係る不適切な事務処理があったことを受け、組織を預かる者としての責任を明らかにするため、特例として市長及び都市整備部の事務を所掌する副市長の給料を減額しようとするものです。

主な内容は、市長については、平成22年4月から行っている抑制策に新たに10%を加えた合計20%を、担当副市長については、現在行っている抑制策に新たに7%を加えた合計14%を、それぞれ一ヶ月間減額しようとするもので、施行期日は、7月1日からとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。《補正予算議案》

《一般会計補正予算(第1号)》

材木座、稲瀬川及び岡本保育園の耐震改修等に係る経費、深沢子ども会館の建て替えに伴う解体工事費などの追加をしようとするもので、歳入歳出ともに1億9790万円を増額し、補正後の総額は582億7990万円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。《一般会計補正予算(第2号)》

先導的官民連携支援事業として実施する、鎌倉市地域経営型PPP事業に係る経費の追加をしようとするもので、歳入歳出ともに900万円を増額し、補正後の総額は582億8890万円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。《教育委員会の委員の選任》

任期満了に伴い昨年10月から空席となっていた教育委員会の委員2名の選任議案が提出され、次の方について同意しました。

安良岡 靖史氏 (前稲村ヶ崎小学校校長) 齋藤 千歳氏 (聖ヨゼフ学園小学校非常勤指導主事)

全国市議会議長会から議員在職20年表彰を受章

5月22日に開催された、全国市議会議長会第89回定期総会において、高橋浩司議員、吉岡和江議員が、いずれも議員在職20年以上特別表彰を受章されました。

また、前議員の伊東正博さん、小田嶋敏浩さんにおかれましても、同じく議員在職20年以上特別表彰を受章されました。

全員協議会

「武家の古都・鎌倉」のイコモ入勸告に係る対応について

世界遺産登録に関して、5月27日に議会全員協議会を開催し、市長から報告を受け、質疑を行いました。報告の概要は次のとおりです。

4月30日にユネスコ世界遺産センターの諮問機関であるイコモスから、現在の構成資産では物的証拠が不十分であるため、不記載が適当との勧告があった。

本市としては将来登録を実現する最善の道は、いったん推薦を取り下げて再挑戦を目指すことと考え、そのためにも今後は勧告で提起された課題をクリアすべく、次の取り組みを三つの柱とし、その実現に向け、国・県と緊密な連携をとりたい。

①埋蔵文化財の調査・研究などの歴史的遺産を守るための取り組み ②歴史的風土特別保存地区をはじめとした緑や景観を守る取り組み ③渋滞対策など市民の暮らしを守る取り組み

編集後記

4月の改選から定数が2削減された26名での議会構成となりました。自治体における議員の適正な数については様々な議論があるかと思いますが、その値は議会の改革度合を推し測る「見える」物差しの一つではないでしょうか。

これまで議決の結果は会派名のみ公表でしたが、6月議会からは議員個人の行動結果を公開することになりました。

今回の議会だよりは、時間的な制約で従来のレイアウト

- 議会広報委員会 委員長 長嶋 竜弘 副委員長 永田磨梨奈 委員 河村 琢磨 委員 保坂 令子 委員 西岡 幸子 委員 上島 寛弘 委員 池田 実 委員 吉岡 和江